

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【公表番号】特表2000-502489(P2000-502489A)

【公表日】平成12年2月29日(2000.2.29)

【出願番号】特願平9-512995

【国際特許分類第7版】

F 2 1 V 7/22

G 0 2 B 5/08

// C 0 8 J 5/18

【F I】

F 2 1 V 7/22 D

G 0 2 B 5/08 A

C 0 8 J 5/18 C E W

【手続補正書】

【提出日】平成15年8月19日(2003.8.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年8月19日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第512995号

2. 補正をする者

名称 ダブリュ．エル．ゴア アンド アソシエイツ,
インコーポレイティド

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル
青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

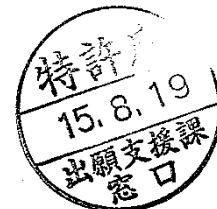
6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正する。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通



方 式 査 査



請求の範囲

1. 紫外線ランプを組み入れた光誘起チャンバーの、光の改良された反射能を提供する方法であって、

その中に微細多孔質の空隙を画定するフィブリルによって相互に接続されたポリマー結節を有する延伸膨張ポリテトラフルオロエチレンを含む反射材を提供し、

紫外線ランプからの光が反射材に衝突してそれから反射することができるように反射材を装着する、

ことを含む方法。

2. 反射材が反射能を提供することをさらに含む請求項1に記載の方法。

3. 光誘起チャンバーの中に、可視光スペクトルの波長を含む光を提供することをさらに含む請求項1に記載の方法。

4. その表面に衝突する紫外線の90%より多くを反射する反射材をさらに備えた請求項1に記載の方法。

5. その表面に衝突する紫外線の95%より多くを反射する反射材をさらに備えた請求項1に記載の方法。

6. その表面に衝突する紫外線の99%より多くを反射する反射材をさらに備えた請求項1に記載の方法。

7. マイクロ波活性ランプを組み入れた光誘起チャンバーの、光の改良された反射能を提供する方法であって、

その中に微細多孔質の空隙を画定するフィブリルによって相互に接続されたポリマー結節を有する延伸膨張ポリテトラフルオロエチレンを含む反射材を提供し、

反射材を透過するマイクロ波エネルギーがランプを励起し、ランプからの光が反射材に衝突してそれから反射することができるように反射材を装着する、

ことを含む方法。

8. その表面に衝突する紫外線の99%より多くを反射する反射材をさらに備えた請求項7に記載の方法。

9. 光源、

光源からの光を誘導するように配向された反射面、

反射面の少なくとも一部の上に装着された反射材の層であって、ファイブリルによって相互に接続されたポリマー結節を有する延伸膨張ポリテトラフルオロエチレンを含む反射材、

を備えた光誘起チャンバー。

10. 光源が紫外線を発し、反射材に衝突する紫外線の95%より多くがそれから反射される請求項9に記載の光誘起チャンバー。

11. その表面に衝突する紫外線の99%より多くを反射する反射材をさらに備えた請求項10に記載の光誘起チャンバー。

12. 光源、

光源からの光を誘導するように配向された反射面、

反射面の少なくとも一部の上に装着された反射材の層であって、ファイブリルによって相互に接続されたポリマー結節を有する延伸膨張ポリテトラフルオロエチレンを含む反射材の層、

を備え、

光源が紫外線を発し、反射材に衝突する紫外線の95%より多くがそれから反射される光誘起チャンバー。

13. 光源、

光源からの光を誘導するように配向された反射面、

反射面の少なくとも一部の上に装着された反射材の層であって、ファイブリルによって相互に接続されたポリマー結節を有する延伸膨張ポリテトラフルオロエチレンを含む反射材の層、

を備え、

反射材がその表面に衝突する紫外線の99%より多くを反射する光誘起チャンバー。